

第 29 回 経営協議会議事録

日 時 平成 21 年 4 月 16 日 (木) 10:00～12:05
場 所 本部棟大会議室
出席者 長澤学長，伊藤理事，牧野理事，山口事務局長，前田副学長，大社委員，
鈴木広子委員，鈴木行生委員，山本委員，渡辺委員
欠席者 棚橋理事，砂川委員
陪席者 竹川監事，本江副学長，宮本副学長

議事に先立ち，議長から，3 月 12 日開催の第 28 回経営協議会議事録については，案を事前に電子メールにて構成員に配付し内容の確認を行ったところ，特に修正箇所がないことから，原案どおり確定したい旨諮られ，承認した。

方針審議

1) 第 2 期中期目標・中期計画について

議長から発議のあと，宮本副学長から，資料 1 に基づき，第 2 期中期目標・中期計画について説明があった。

審議の中で，構成員から，中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果についての報告を踏まえて審議したい旨発言があり，先に報告事項 1 について報告した。

構成員から，以下のような発言があった。

- ・ 大学の方針として，食の安全安心に特化するのか，バイオマスや地域貢献などと広げていくのかが分かりにくい。
- ・ 実社会に必要とされる人材を育成していただきたい。
- ・ 教育環境を充実させるのは良いが，名称を「学びあいのコミュニティ」としてはどうか。
- ・ 高度専門人の育成とあるが，実学だけでなく，経営者を育成するコースを設けてはどうか。また，それが本学の特色になるのではないか。
- ・ 産学連携については，抽象的なので今後，具体的な方向性を打ち出していきたい。
- ・ 文部科学省・経済産業省事業の産学官連携拠点に応募してはどうか。
- ・ 知財戦略をもっと深化し，研究段階から，産業界での活用を見越した戦略を立てていただきたい。

議長から，5 月中旬に全学説明会をするので，学内の意見を盛り込んだ案を 6 月の会議までに送付するので，再度ご意見をいただきたい旨発言があった。

2) 平成 22 年度概算要求事項について

議長から発議のあと、伊藤理事から、資料 2 に基づき、平成 22 年度概算要求事項について説明があった。

議長から、平成 22 年度特別経費のプロジェクト分の 6 項目のうち、4 項目を選択し要求することとしているが、まだ項目及び詳細が流動的であることについて発言があった。

構成員から以下のような発言があった。

- ・ 学生の立場になって考えた場合、リーダーシップをとれる人材を育て、地域の産業を支えるような項目を推していただきたい。
- ・ 人材養成や教育機能の充実については、大学の本業だから必ずやるべきことであり、その他の項目を充実させた方が大学の特色が出るのではないか。
- ・ 社会との接点をより強くできるような項目を盛り込んで頂きたい。
- ・ 社会貢献でも、経済的な成果にもつながるものを推していただきたい。
- ・ 産学官連携や地域貢献については、何らかの形で支援できればと考えている。

報告事項

1) 中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果について

伊藤理事から、資料 3 に基づき、中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果について報告があった。

構成員から以下のような発言があった。

- ・ 数値目標だけにとらわれてはいけない。
- ・ 社会で活躍できる卒業生を送り出せているかどうか、最終的な評価になるのではないか。また、そのような調査をする必要があるのではないか。

2) 平成 20 年度大学の主な活動状況について

伊藤理事から、資料 4 に基づき、平成 20 年度大学の主な活動状況について報告があった。

3) 教員の選考について

伊藤理事から、資料 5 に基づき、前回の経営協議会以降に教育研究評議会において承認された、4 件の教員人事について報告があった。

4) 平成 21 年度入学者数について

牧野理事から、資料 6 に基づき、平成 21 年度入学者数について報告があった。

その他

議事後に、構成員から以下のような発言があった。

- ・ 帯広市の R&B 構想について、行政と民間と大学ではそれぞれ考えが違うようだが、協議して進めることはできないのか。
- ・ 実学や、1 つにまとまったキャンパス等、地域連携がしやすい環境がそろっているの
で、MOT(技術経営)を具現化することが必要だと感じる。
- ・ 植物や農業についての地域のニーズが相当あると思う。第 1 期中期計画において、獣
医、畜産や原虫病センターがクローズアップされていたが、第 2 期中期計画では地元産
業である農業植物についても注力していただきたい。
- ・ 農業経営についてのビジネススクールを開くことができないか。管理経営だけでなく、
実学を学べる研修施設みたいなものがあると良い。
- ・ ビジネススクールの開校により、社会貢献を果たすための新しいステージを提示でき
ないか。
- ・ 地域貢献、社会貢献、MOT に力を入れていくことにより、大学の特色がでるのでは
ないか。

議長から、第 30 回経営協議会は、6 月 18 日(木)10 時から、本部棟大会議室において開催
する予定である旨の発言があった。

以 上